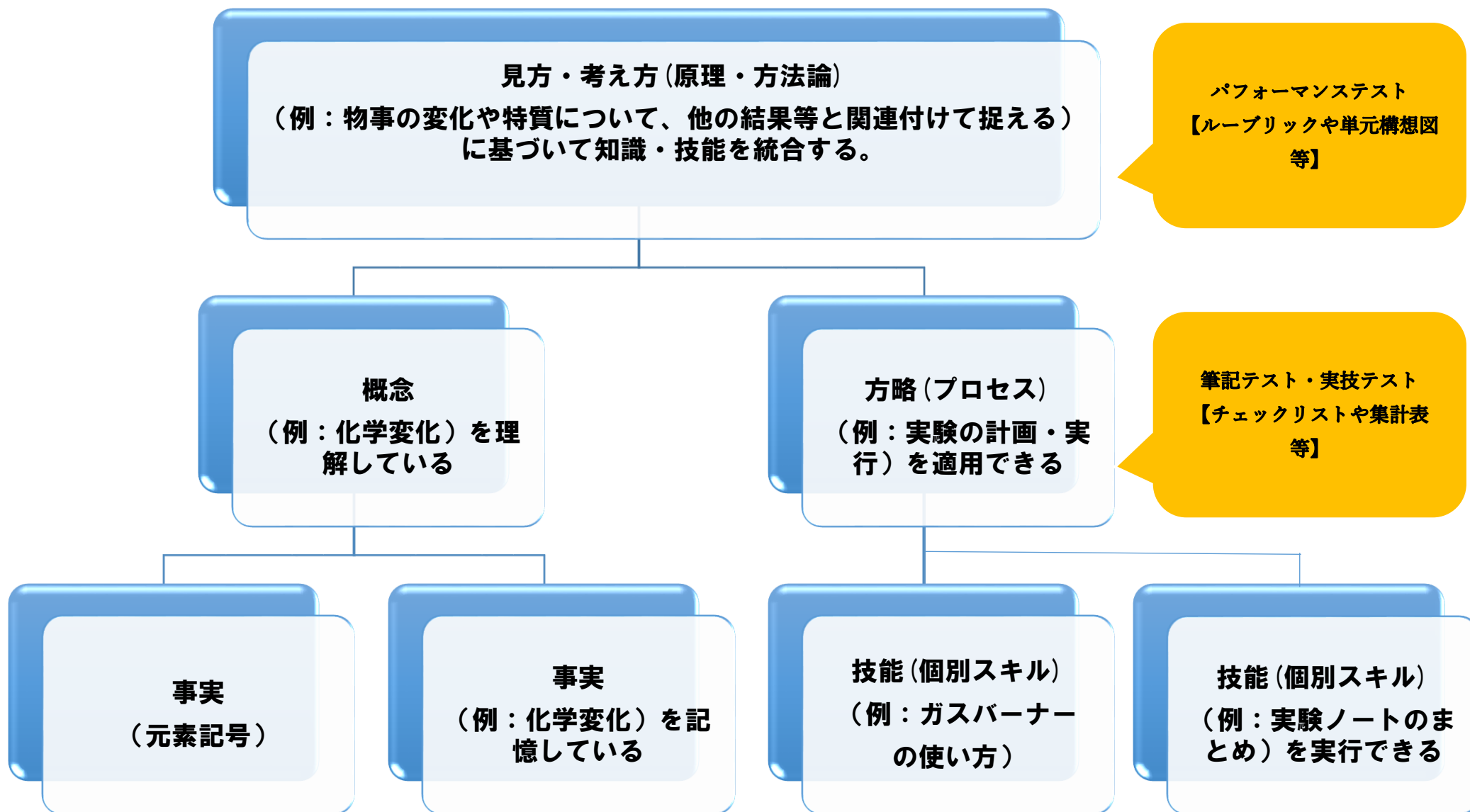


## 「知の構造」を用いた教科内容の構造化

新学習指導要領の身に付けさせたい資質・能力の育成に向けて、構造化した学習過程を「児童生徒」の視点で構成することが大切になります。



## 目標・指導・評価の一体化

構造化を図る上で、同時に行いたいのが「一体化」です。具体的にどのような姿にしたいか？そのために何をすべきかを設定して授業を行いましょう！

